

事業所名 放課後等デイサービス かえで。

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

1 月

6 日

法人（事業所）理念		遊びを通して人間力の向上を図ります。					
支援方針		①遊びを通して対話能力能力を高めます。 遊びを通して人間関係構築力を高めます。 ③遊びを通して協調性を高めます。 ②					
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①利用時の健康状態の把握（検温、心の安定等） ②挨拶やお礼等、生活に必要な言葉の技能習得ができる様に支援を行います。 ③身だしなみや身の回りの整理整頓が自分自身でできる様に支援を行います。					
	運動・感覚	①日々公園等で活動し基礎体力の底上げを行います。 ②走る、投げる、跳ぶ等の基本運動能力の向上や身体の使い方を支援します。 ③様々なプログラムを準備し、興味を持てる事、好きになれそうな事をたくさん用意し熱中できる事や集中できる事を増やせる支援を行います。 ④感覚過敏等のその子の障害や発達段階に合わせた適切な支援を実施します。					
	認知・行動	①ルールの理解等楽しく活動するため最低限守らないといけない事への理解を高める支援を行い協調力を高めます。 ②その子が元来持っているこだわりや譲れない事を把握し、どの子でも楽しく活動ができる支援を実施します。 ③耳からの情報への理解、目からの情報への理解得意な理解方法を把握しその子の理解し易い方法で支援を実施します。					
	言語 コミュニケーション	①『ありがとう』や『おもしろいね』等お互いの会話の中で意識的にフィードバックが伝えられるような支援を行います。 ②話が苦手な子は無理に話をせず、安心できる環境を作りながら、言葉がでなくても、身振りや指さしのボディーランゲージを尊重する支援を行います。 ③うまく出来た時はすぐに褒めることで成功体験を重ねて『できた！』を増やして自信をつける支援をします。					
	人間関係 社会性	①ペアやグループでの活動を取り入れ、自然とコミュニケーションをとる機会を増やす支援を行います。 ②ペアやグループでの活動中に興味のあるテーマで会話ができるように、『何のゲームが好き？』等簡単な質問から始め、興味から対話に繋がり人間関係が構築できる支援を行います。 ③共同作業（リレーやドッジボール等）を増やすことで対話やチームプレイを促しながら人間関係の構築ができる様に支援します。					
家族支援		児童のみならずご家族様へ包括的な支援を実施するために、関係機関との連携を行いながらご家族すべてが安心して生活できる様に支援を実施します。			移行支援	学年時応じた支援を実施。 例 小学生⇒中学生の場合 公共交通機関の利用支援、外食支援、買い物支援等	
地域支援・地域連携		①地域コミュニティへの参加 ②地域行事への参加			職員の質の向上	①各種研修実施 ②保育士、児童発達支援管理責任者へのサポートあり ③管理者研修	
主な行事等		①季節の行事を執り行います（節分、ひな祭り、子供の日、夏のBBQ等） ②長期休みでは様々な所へ日帰りでお出かけします。 ③食育を兼ねてクッキングや外食体験をします。					